

# ストップDV・サポートの会



No.22

## News Letter



発行日 2016年1月吉日

発行所 徳島市八万町橋本12-3

発行人 東條 恭子

PHS 070-5680-3822

ストップ DV・サポートの会

ブログ

http://



### 2016年 明けまして おめでとうございます



ストップDV・サポートの会、基金「森」を設立して11年目に入りました。この間に基金を預けた方々には、76件となっています。これまで続けてこれましたのは、偏に皆さま方のご理解・ご協力があってこそと、心から感謝申し上げております。今年度3月末には、「徳島のDVに取り組んで10年」記念誌を作成するため奮闘中です。

昨年の全国シェルターシンポジウムは、沖縄で開催されました。大会アピールの中に、昨年「安保法制関連法案」が強行採決され、日本の社会が暴力的な傾向を強めています。女性や子どもに対する暴力被害が、過酷化・深刻化の度合いを深めていることとは無関係ではありません。「男女間における暴力実態調査」（内閣府2014年）では、DV被害を受けた女性の9人に1人が生命を脅かされ、デートDV被害者の4人に1人、ストーカー被害者の3人に1人が殺されるかもしれない危険な被害を体験しています。さらに、子どもたちをターゲットとする残虐な性暴力犯罪も後を絶たず、性の商品市場で搾取される若年女子の「性暴力被害」が大きく顕在化してきているとありました。

沖縄では米兵による性被害はこれまで多発していましたが、声として挙げられてこなかった実態が話され、まだまだ語りきれない女性蔑視と辺野古基地移転問題は、「力と支配」まさしく沖縄県民の犠牲の上に「日本の平和」があることに、今回沖縄で開催された意図の深さを強く感じました。

戦後70年、1985年男女機会均等法制定から30年、1995年北京世界女性会議から20年、1999年には『男女共同参画社会基本法』が施行され、昨年2015年8月には、女性が、職業生活において、その希望に応じて十分に能力を発揮し、活躍できる環境を整備するため『女性活躍推進法』が成立、2016年4月1日から、労働者301人以上の大企業は、女性の活躍推進に向けた行動計画の策定などが新たに義務づけられることとなりました。

女性の人権を侵害し、生命の存続を脅かす「暴力」の根絶なしに『すべての女性が輝く社会』の実現はありません。女性の人権を尊重し、女性に対する暴力をなくすため、役員一同、「英知」と「心」を合わせ活動して参ります。

今年も皆さまのご指導・ご理解・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

ストップDV・サポートの会  
代表 東條 恭子

### 活動報告貸出事業

2015年12月末日現在

- 2015・6・16 第72号貸出
- 2015・6・29 第73号貸出
- 2015・8・30 第74号貸出
- 2015・9・29 第75号貸出
- 2016・1・8 第76号貸出

[返済内訳]

- \*返済完了 (計26件)
- \*返済中 (計19件)
- \*返済なし (計16件)
- \*連絡取れず (計15件)

#### ~DVのない地域づくりをめざして~

阿南で開催された「日本女性会議2013あなん」で「DVのない地域づくり～男たちの挑戦～」と題した分科会を開催。そこで関わった多くの男性自身がDVをよく理解し、家族関係の中での新しい発見があり、『紫の種を蒔く会(purple seed ANAN)』という市民活動が始まった。

#### <男性学入門講座のお知らせ>

とき 2016年2月13日(土)13:30～  
ところ 富岡公民館(阿南市)  
講師 大山治彦さん(四国学院大学教授)  
問合せ 青木 090-1172-6300



# 「森」 Report

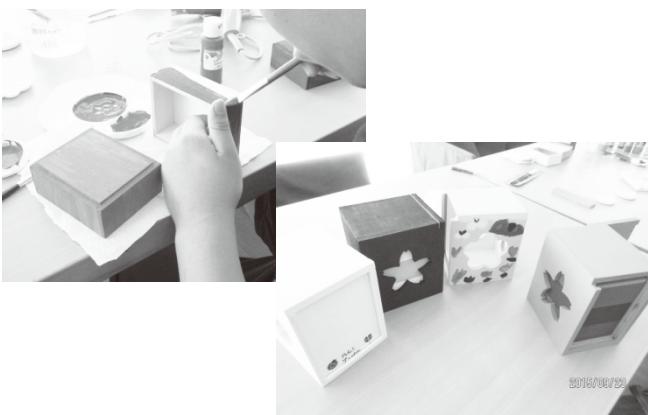
## ひとり親・シングルマザーのつどいを開催 【パート1】徳島県親子交流セラピー事業

～世界に1つの【my遊山箱】づくりに挑戦！～



梶浦 洋一

『シングルマザーとその子たちを励ます活動』は【ひとり親・シングルマザーと子供たちのつどいパート1】として開催された。とき・ところは2015年9月23日(水・祝)。10時00分から16時00分のロングラン。会場は【なじみ】の集会室。ほぼ半日の時間をかけての【my遊山箱】づくりは【それぞれ世界に1つの作品を10セット】つくることで白熱した。それは親子で《徳島の伝統文化・思い出の遊山箱》をつくろうという企画に基づいた楽しい集いにもなった。



2006年に『遊山箱組み立てキット』を考案された山田 司先生のご指導のもとで、先生の作品をお手本にしつ初心者にわかるように、筆さばきなども細かくご指導いただいた。やがて親子グループごとに【白木のキット】や独創的なアクリル絵の具の色選びも進んだ。赤・黄・緑・黒・白・紫・橙など多種多様。外箱、内箱それぞれに手早く絵の具を塗り混み、乾かせ、また塗り込んでいく。さらにそれぞれ思いつく絵柄を加える。可憐な草花をはじめ小鳥や昆虫や小動物など、アイディアを出し合い、人々と仕上げていく有様は真剣そのもの。普段はこのような雰囲気でモノづくりに勤しむことは稀であろう。

昼食もそこそこの延々6時間かけて仕上げた作品は、それぞれに個性が見事に表現されて微笑ましく、まさに【世界に一つ作品】になったことに感心した。価値ある楽しい1日であった。

## ひとり親・シングルマザーのつどいを開催 【パート2】徳島県親子交流セラピー事業

～親子で「そばうちに挑戦」～



自然にふれあい、味覚の秋を親子で満喫してもらいたいと11月1日(土)に労働福祉会館7時20分集合、7時30分出発をして東祖谷のそば打ち体験「つづき」へ向いました。お天氣にも恵まれ、道中少し早めの紅葉も楽しめ、そば打ち体験後、新祖谷温泉ホテルかずら橋にも立ち寄り、心癒せる爽やかな一日となりました。

### 【そば打ち体験に参加して】

井上 沙渚里

私の息子は15歳で、少し反抗期にさしかかっている事もあり、最近は口も悪く息子も大きくなってきたので、参加するかどうかを迷っていましたが、私が離婚して10年経過という節目といったこともあり、参加させていただきました。

参加しながら思ったことは、それぞれの家庭環境の方たちが、この機会を通して交流し、お互いに協力しながらそば打ちをしており、離婚してすぐに周囲の人やこの会のサポートを受けながら、「苦しくても何とか乗り越えながら、11年目を迎えることが出来たのだ」と思います。

時々、息子の怒った顔や口調が、別れた夫を思い出して、ドキッとすることがあります、自分は一人ではなく、相談するところがあるので、今後も相談しながら子どもと共に成長していき、少しずつでも今度は自分がサポートする側になって、活動できるようになりたいと思いました。



## ひとり親・シングルマザーのつどいを開催 【パート3】徳島県親子交流セラピー事業

～親子で「ほっ」とした時間を～



坂東 清美

11月28日（土）の阿波観光ホテル「ほっとする時間」では、今年も田野道子先生から講話を頂いた。先生は、夜寝る前に3つの振り返り ①社会人として ②人に対して ③道子として どうだったかな？そして感謝してリセットして新しい朝が迎えられるのだと。時は流れ、止まることはない。行動は運命を決める。なにがしたいかを考えられる子どもにと話された。食事交流会では、キッズダンス。軽快なリズムに会場が沸き、また、キッズ達と一緒に楽しくステップを踏んだ。ほっとする楽しい時間を過ごし、梶浦さんの、孫を見るような優しい目と、ユーモラスな挨拶で閉会した。

この行事は恒例となって、5年目を迎える。また、皆さんでほっとする時間を共有できればと思います。



## ひとり親・シングルマザーのつどいを開催 【パート4】徳島県親子交流セラピー事業

～「命の尊さを」・キャンドルナイト～

毎年恒例のキャンドルナイトのイベントを、2015年12月26日（土）に実施しました。

17：30～キュンドルに火を灯し「命の尊さ」を考えました。

2006年12月21日に起きた吉野川事件を風化させないように、二度と悲惨な事件を起こさないように・・・



命の大切さを更に心に刻んで、黙祷することができます。



## ひとり親・シングルマザーのつどいを開催 【パート5】徳島県親子交流セラピー事業

～ 親子で「初詣」～



湯浅 真由美

毎年恒例の初詣に、シングルマザーと子供たちと一緒に、2016年1月9日(土)労働福祉会館9時出発、薬王寺へ行きました。昼食をとるホテルししくいリビアまでの道中、皆の自己紹介の後、山下先生の講話を聴きました。紙芝居や電話相談などのボランティア活動のお話や、家事の手伝いをすることで女性の大変さが解るという女性に優しいお話を、ユーモアを交えて楽しく話して頂きました。



天候にも恵まれ、天気予報を参考に厚着した人が後悔するほど暖かい一日でした。何より、子ども達が笑顔で、積極的に楽しんでいたことが、とても嬉しいです。バスの中で、こちらが用意したクイズの後、手を挙げてクイズを出してくれた小学生たち。昼食中、「この食べ物は美容効果があり・・・」とウンチクを披露してくれた小学5年生。小学生たちに「危ないよ」

「・・・しいよ」とお兄ちゃん力を発揮していた一人っ子の中学生。ママの手を煩わせながらも、皆に癒しと安らぎを与えてくれた2歳児。運転中、2歳児に頭を叩かれても（本人はヨシヨシのつもり？）優しく対応し、降りる時は抱っこしてくれた運転手さん。

皆さんの1年が幸せであります。

# 会員からのホッと情報



## 第18回全国シェルターシンポジウム 2015 in 沖縄に出席して



西岡 恵子

11月7日～8日にかけ、「性暴力禁止法の制定に向けて 命どう宝 暴力のない世界へ」・「基地・軍隊と女性への暴力」と題した、シンポジウムが那覇市の男女共同参画センター【ているる】で開催され、全国より性暴力被害者を支援する関係者300人が沖縄に集まりました。

精神科医、研究者、支援者がそれぞれの立場から沖縄の現状を話され、戦後70年の今も続いている女性への暴力について問題提起されました。

基地があることで標的となり得る・基地問題は命の問題、日本本土の米軍基地への反対運動が沖縄への負担増や基地問題の意識の低下を招いたこと、戦後から続く貧困やジェンダーの不平等、性の商品化が沖縄の若い女性たちを厳しい状況に追い込んでいることなど、私が考えていた以上にどの問題も重大かつ深刻でした。

特に、沖縄の強姦救援センターの高里代表の言葉「暴力のない社会の最低条件は戦争への道を選ばないこと」は、深く心に刻まれました。



## 子育て日誌

黒松 正代

今年の年明けは暖かく晴天に恵まれましたね。1日は“あすたむらんど”で凧揚げをしましたが、高く上がりとても気持ちよかったです。そして、9日には薬王寺への初詣バスツアーに親子で元気に参加させていただくことができました。温泉で身を清めた後参拝したこともあるってか私が大吉を引き当てました。この日誌を読んでいただくことで皆様にもお福わけができたらと思います。

早いもので雅幸は3月には幼稚園を卒業して4月から小学校に入学します。この1年はこれまでよりからだが丈夫になり、病院へ行くのもずいぶん少なくてほとんど休まずに通園しています。できることも少しづつ増えてきました。園で子どもたちが取材をして新聞を作っているのですが、雅幸は空港と海に行った時のことを原稿用紙1枚半の記事として書いたので驚きました。出来事の羅列でひらがなばかりのうえに「そして」が多いのですが、友達のハグニングを「ごるふぼーる ころころじけん」というタイトルをつけて説明するなど笑わせてくれる楽しい記事でした。

また、園ではビデオカメラを使うことが多いので、家でも自分でぬいぐるみを使って解説を入れた動画を撮ったり、テレビで見たドローンを真似てラジコンカーにカメラを載せて動画を撮ったりとなかなかおもしろいものを見せてくれています。

初詣に行く車中で、今年の目標として雅幸は「友達をいっぱいいくつって、いっぱい遊びたい」と皆さんに話しました。小学校で出会う新たな友達と仲良くいっぱい遊んでくれることを願うとともに親としてはいろんなことを挑戦できるように応援していきたいと思います。

皆様にも良い出会いがありますように。本年もよろしくお願ひいたします。



ドメスティック・バイオレンス  
ストップDV

自転車、大きくなってかっこいいー(\*^▽^)v  
夏より大きくなりました♡



ストップDV・サポートの会